

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第9回)

●「“環境的に持続可能な交通”を目指して」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 坂本潤一郎】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第9回)

●「平城遷都1300年記念事業の開催に向けた交通流対策の取り組み」

【奈良県企画部観光交流局交流政策課調整員 福益 孝行】

3. ニュース／トピック

●社整審・交政審の環境部会において第3回合同会議を開催【国土交通省】

●自転車利用環境向上、歩行者優先施策等22地域の社会実験に着手

【国土交通省】

●「グリーン物流とエコポイント研究会」報告書を公表【経済産業省・国土交通省】

●CNG車普及促進モデル事業の実施地域を募集【国土交通省】

●平成19年度低公害車普及促進対策費補助金交付要綱を施行【国土交通省】

●平成18年の燃費の良いガソリン乗用車ベスト10【国土交通省】

●低公害車メールマガジンが終了【国土交通省】

●低公害車普及のための各種支援措置(税制・融資)【環境省】

●平成19年度エコ燃料実用化地域システム実証事業を採択【環境省】

●「地球温暖化対策とまちづくりに関する検討会」報告書を公表【環境省】

●「エコドライブ欧州視察調査」の報告書を公表【交通エコモ財団】

●「佐賀県市街地再生指針」を策定【佐賀県】

●DMV(デュアル・モード・ビークル)の試験的営業運行を開始【JR 北海道】

4. イベント情報

●子ども環境学会2007年大会特別シンポジウム「道草のできるまちづくり」

●5月5日(土・祝)「こどもの日」限定「エコどもきっぷ付 1DAY フリー」を発売

●第15回環境自治体会議うちこ会議

●三軒茶屋地区における都市計画道路完成記念「密集市街地再生フォーラム」

●第2回人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 京都

5. その他

●記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第9回)

●「環境的に持続可能な交通」を目指して」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 坂本潤一郎】
(国土交通省総合政策局交通計画課企画調整官)

日常生活における自家用自動車への依存が高まっており、地域によっては、公共交通サービスの水準の低下や、不採算路線の撤退による交通空白地帯が出現するなど、地域の公共交通を巡る環境は大変に厳しい状況にあります。

一方で、急速な高齢化の進展、まちづくり・観光振興等の地域活性化、地球温暖化の環境問題等、重要な政策課題への対応が求められており、地域の公共交通の活性化・再生が必要不可欠です。

こうした認識のもと、地域における多種多様な公共交通に関する課題、ニーズに対応するため、市町村、公共交通事業者、利用者等の地域の関係者が協働して、地域公共交通の活性化・再生のために実施する取組を総合的に支援する「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律案」を今国会に提出したところです。

本法案では、地域の関係者が一体となって地域公共交通の活性化・再生に取り組むための「地域公共交通総合連携計画」の作成や、同計画の作成に関して、協議会への参加応諾義務、協議合意事項の尊重義務、計画作成・変更の提案制度等を規定し、地域にとって真に有益な計画づくり等を促すこととしています。

また、同計画に位置づけられた事業については、関係予算の重点配分、配慮、地方財政措置等や、事業許可等の必要な手続きの合理化等による取組の促進を図っていくこととしています。

本法案を活用して、EST(環境的に持続可能な交通)の実現のため、公共交通の利用促進など地域の関係者が一体となった取組が行われることを期待しています。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第9回)

●「平城遷都1300年記念事業の開催に向けた交通流対策の取り組み」

【奈良県企画部観光交流局交流政策課調整員 福益 孝行】

奈良県では、西暦710年の奈良・平城京の誕生から1300年目にあたる西暦2010(平成22)年に、「歴史文化との対話と交流」をテーマにした平城遷都1300年記念事業の開催に向けた取り組みを進めています。

また、県内には、「古都奈良の文化財」を始めとする世界遺産を有し、数多くの重要な史跡や文化財が集中しており、これらの周辺環境の保護のため、環境的に持続可能な交通の実現が課題となっています。

そのような中で、円滑な交通の確保のためにも、公共交通の利用促進を図ることを基本に、国、県、奈良市、交通事業者及びNPOなどの関係者がそれぞれ連携して、モビリティ・マネジメント、パーク&ライド、交差点改良などソフト・ハードの両面から、環境的に持続可能な交通の実現を目指すESTモデル事業に、平成17年度から取り組んでいます。

昨年10月からは、関係者とともに、「奈良県モビリティ・マネジメント協議会」を立ち上げて、交通渋滞の緩和、CO2排出量の削減の取り組みを始めています。

その一環として、住民などに公共交通機関などへの利用転換を促していくため、シンポジウム「人に街にやさしい公共交通(かしこいクルマの使い方を求めて)」を開催し、また、県内企業の社員など約200名を対象にTFP(トラベル・フィードバック・プログラム)を実施しました。

今後も、企業や地域住民に対して、モビリティ・マネジメントへの参加を呼びかけるなど、できるだけ多くの関係者の協力と支援をいただきながら、継続的かつ全県的な取り組みに繋がっていきたいと考えています。

3. ニュース／トピック

●社整審・交政審の環境部会において第3回合同会議を開催【国土交通省】

国土交通省は、2008年に見直す京都議定書目標達成計画における運輸部門の着実な目標達成に向けて、平成19年4月4日に合同会議を開催しました。ESTについては、資料3「社会資本整備分野と交通分野の連携施策」において検討されました。

<http://www.mlit.go.jp/singikai/infra/kankyau/goudou/070404.html>

●自転車利用環境向上、歩行者優先施策等22地域の社会実験に着手

【国土交通省】

国土交通省は、「自転車レーンの設置など自転車利用環境向上施策」、「歩行空間の確保など歩行者優先施策」、「通り名・位置番号方式による道案内システム」等の社会実験をおこなうため、22地域を選定しました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060403_.html

●「グリーン物流とエコポイント研究会」報告書を公表【経済産業省・国土交通省】

経済産業省と国土交通省は、流通・物流業界においてエコポイント制度を導入する際の問題点を明らかにするとともに、エコポイントの付与対象、付与量、還元方法等について、「グリーン物流とエコポイント研究会」において検討してきました。先月、その結果を報告書として公表しました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/15/150330_.html

●CNG車普及促進モデル事業の実施地域を募集【国土交通省】

国土交通省は、黒煙ゼロのまちづくり等を目指した環境先進地域において重点的かつ計画的にCNG車の普及を促進するための「CNG車普及促進モデル事業」の実施地域を募集しています。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090330_4.html

●平成19年度低公害車普及促進対策費補助金交付要綱を施行【国土交通省】

国土交通省は、平成18年度に引き続き、CNGバス・トラック等の導入に対する補助を実施することとし、平成19年4月1日より、平成19年度における「低公害車普及促進対策費補助金交付要綱」を施行しました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090330_3.html

●平成18年の燃費の良いガソリン乗用車ベスト10を公表【国土交通省】

国土交通省は、自動車ユーザーの省エネルギーへの関心を高めるとともに、燃費性能の優れた自動車の開発・普及を図るため、毎年、現在販売されている自動車の燃費性能を整理した冊子「自動車燃費一覧」を作成し、燃費の良いガソリン乗用車ベスト10を公表しています。

<http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090329.html>

●低公害車メールマガジンが終了【国土交通省】

国土交通省が発行していた「低公害車メールマガジン」が、平成19年3月30日付2007/第03号(通巻52号)をもって終了しました。創刊から6年、低公害車も約1,300万台(平成18年9月末時点)まで普及しています。ESTメールマガジンでは、ESTの施策の一つである低公害車の普及について、今後も情報提供を続けますので、ご期待ください。

●低公害車普及のための各種支援措置(税制・融資)【環境省】

環境省は、平成19年度における低公害車等の導入に対する税制上の優遇措置制度や融資制度、補助制度の概要をまとめました。

<http://www.env.go.jp/air/car/lev/sup.html>

●平成19年度エコ燃料実用化地域システム実証事業を採択【環境省】

環境省は、エコ燃料の普及を加速化させるため、平成19年度より新たに「エコ燃料実用化地域システム実証事業」を実施します。この度、事業者の公募を行った結果、大阪府の事業提案を採択しました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8268>

●「地球温暖化対策とまちづくりに関する検討会」報告書を公表【環境省】

環境省では、京都議定書の第1約束期間に留まらず、中長期での温室効果ガスの大幅

削減のためには、「地球温暖化対策の観点からのまちづくり」が重要であるとの認識の下に、「地球温暖化対策とまちづくりに関する検討会」にて検討した結果を報告書にまとめました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8245>

●「エコドライブ欧州視察調査」の報告書を公表【交通エコモ財団】

交通エコモ財団は、わが国でのエコドライブのより一層の普及を目指すため、先進的に取り組まれている欧州の普及方策や講習会の実施方法等に関する調査を社団法人日本自動車工業会と合同で実施し、その報告書を公表しました。

http://www.ecomo.or.jp/top_ecodrive/index_tyousa_houkokusho_downloadpage.htm#3

●「佐賀県市街地再生指針」を策定【佐賀県】

佐賀県は、今なお空洞化が進行している中心市街地の厳しい現状を踏まえ、市街地の再生に取り組むとともに、併せて、市街地再生に対する県の姿勢や考え方を示し、「まちづくり」の担い手である市町における今後の主体的な取組を促していくための指針を策定しました。

http://www.pref.saga.lg.jp/portal/ty-contents/WH/FWHM000601Action.do?contentSetId=CID301&showCrumbList=true&categoryId=206&CNT_ID=11997

●DMV(デュアル・モード・ビークル)の試験的営業運行を開始【JR 北海道】

JR北海道では、DMV の実用化に向けた、試験的営業運行を釧網線の浜小清水～藻琴間で 2007 年4月 14 日より開始しています。6月末までの予約は満席になり、キャンセル待ちの状況です。

<http://www.jrhokkaido.co.jp/new/dmv/index.html>

4. イベント情報

●こども環境学会2007年大会特別シンポジウム「道草のできるまちづくり」

日時: 2007 年4月 29 日(日)

場所: 横浜市開港記念会館

主催: こども環境学会

<http://www.children-environment.org/>

●5月5日(土・祝)「こどもの日」限定「エコどもきっぷ付 1DAY フリー」を発売

日時: 2007 年5月5日(土・祝)

場所: 名古屋鉄道出札係員配置駅(弥富、赤池、成田山、動物園は除く)

問い合わせ: 名鉄お客さまセンター(TEL: 052-582-5151)

http://www.meitetsu.co.jp/profile/news/2007/1178343_1141.html

●第15回環境自治体会議うちこ会議

日時:2007年5月23日(水)~25日(金)

場所:愛媛県喜多郡内子町全域

主催:第15回環境自治体会議うちこ会議実行委員会・環境自治体会議・内子町

http://www.town.uchiko.ehime.jp/life/detail.php?lif_rec=242

●三軒茶屋地区における都市計画道路完成記念「密集市街地再生フォーラム」

日時:2007年5月24日(木) 午後13:30開演(午後13:00開場)

場所:国士舘大学世田谷キャンパス多目的ホール(中央図書館B1F)

主催:独立行政法人都市再生機構

<http://www.ur-net.go.jp/missyu-saisei/>

●第2回人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 京都

日時:2007年9月22日(土)

場所:同志社大学寒梅館

主催:第2回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 京都・実行委員会

<http://www.areev.org/07-april/AREEV-07-april-mokuji.htm>

5. その他

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: EST@ecomor.jp (担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail: EST@ecomor.jp

ESTポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>